

主催：公益財団法人 対馬丸記念会

令和
5年度

第2回

がくどうそかい

学童疎開

たいけんじぎょう

体験事業

本研修（2泊3日）

2023

12/27(水)~29(金)

事前研修 3回 / 事後研修 3回

定員

10名

参加費

無料

本研修参加費は
対馬丸記念館が負担します。

沖縄県から補助を受け、
本事業を開催いたします。

場所

宮崎県

（事前・事後研修は対馬丸記念館で行います。）

参加対象者

沖縄本島在住の小学校5～6年生

申込方法

裏面のURLまたはQRコードで
応募WEBフォームを読み込んで送信してください。

お問い合わせ

対馬丸記念館 TEL:(098)941-3515 FAX:098-863-3683(担当者:堀切、河野)

がくどうそかいたたいけんじぎょう

学童疎開体験事業の目的

「疎開」は戦時中に安全な場所に子どもや高齢者、女性を避難させる行為です。しかし本当の目的は足手まといになる人を沖縄から追い出すことや、厳しい食糧事情から口減らしをするためだったともいわれています。疎開後の生活は、食糧不足で孤独感がつのるなど、辛く過酷なものでした。本事業では、当時の学童疎開の状況を追体験し、戦争と平和について考えることを目的としています。さらに、研修後には子ども達から地域の学校などで学びを伝えてもらい、次世代に記憶を継承するという、平和博物館としての役割を果たすことを最終目標としています。

研修日程・内容

全3回
事前研修

場所
対馬丸記念館

時間
14時～16時
(2時間を予定)

- ① 12月 3日(日)・・・顔合わせ、疎開と対馬丸
- ② 12月 9日(土)・・・疎開先での生活と沖縄戦
- ③ 12月 16日(土)・・・本研修に向けて

本研修 2泊3日

12月 27日(水)～12月 29日(金)

空路にて鹿児島空港に移動後、沖縄からの疎開者を実際に受け入れていた宮崎県に向かいます。実際に疎開を受け入れた地域の人達との交流の後、夜の暗い海での乗船体験をして、対馬丸に乗って疎開をした子どもたちに思いを馳せます。食事は当時の子どもたちが食べていた「やーさん飯(ひもじいご飯)」を提供し、3日間を通して当時の子どもたちの目線を体感して学びを深めます。

全3回
事後研修

場所
対馬丸記念館

時間
14時～16時
(2時間を予定)

- ① 1月 7日(日)・・・本研修のふりかえり、新聞作り
- ② 1月 21日(日)・・・新聞作り、発表前準備
- ③ 1月 28日(日)・・・学童疎開体験事業学習発表会

募集概要

募集期間▶ 11月 6日(月)～
11月 19日(日)まで

定員▶ 10名

応募資格▼

- ① 沖縄本島在住の小学校5～6年生
- ② 心身ともに健康で平和学習に興味関心、意欲のある児童
- ③ 約束ごとを守り、他の参加者と協力しながら研修に取り組むことのできる児童
- ④ 事前研修、本研修、事後研修すべての日程に参加できる児童

応募方法▼

- ・応募は1回限りとします。WEBフォームからご応募ください。
- ・参加者の選定は一次審査と二次審査にて行います。
一次審査：作文による審査 二次審査：親子面談
- ・天候などの影響により、急な日程変更がある場合や、中止になる場合がございます。ご理解とご協力のほどよろしくをお願いします。

その他▼

- ・全研修(事前研修3回、本研修、事後研修3回)への研修費用については、学童疎開体験事業費からの助成となります。(ただし、個人的諸費用はすべて参加者の自己負担となります。例：現地での飲み物、軽食代など)
- ・事前研修、事後研修への参加は現地集合・解散とし、本研修については那覇空港集合・解散とします。保護者の責任で送迎を行い、集合・解散にかかる交通費は自己負担とします。
- ・本研修は国内旅行傷害保険、事前・事後研修は施設賠償責任保険、昇降機賠償責任保険に加入しております。

応募のステップ

① 応募WEBフォーム



URL: <https://onl.sc/Ef69maq>

② 作文を提出(一次審査)

一次審査について、200字以内で作文を書いて提出してください。テーマは「学童疎開体験事業に参加しようと思った理由」で、必ず原稿用紙に手書きのものを提出してください。WEBフォームからスキャンした画像データを送るか、記念館への郵送での提出も可能です。郵送の場合は、11月19日(日)必着をお願いします。

お問い合わせ先

公益財団法人対馬丸記念会 対馬丸記念館

TEL: 098-941-3515 学芸員担当: 堀切、河野